

行事予定

三月	四日(金)	東京教区詠道部発展拡充大会	
三月	七日(月)	出雲三十三観音巡礼	
三月	二十日(日)	春季彼岸会	
四月	一日(金)	三日(日)	龍雲寺桜ライトアップ
四月	十一日(月)	十四日(木)	第九次四国巡拝
四月	二十三日(土)	ダンマトーク	佐々木閑先生
五月	九日(月)	花園会女性部大会	
六月	十五日(水)	十六日(木)	第一三七回 三峯榛名講
六月	十八日(土)	ダンマトーク	京都・清水寺貫主 森清範管長様
六月	二十日(月)	二十三日(木)	出雲三十三観音巡礼
七月	十三日(水)	十五日(金)	棚経
七月	十七日(日)	孟蘭盆施餓鬼会	
七月	二十九日(金)	三十一日(日)	盆踊り大会(予定)
八月	十五日(月)	十七日(水)	第十一回妙心寺と五山送り火
九月	十二日(月)	十五日(木)	西国三十三観音巡礼
九月	二十二日(木)	秋季彼岸会	
十月	十五日(土)	第十三回 満天教子	バイオリンコンサート

◆龍雲寺てらこや子ども 論語塾のご案内

全国各地で論語の定例講座をされている、安岡正篤先生の論語の素読教室です。安岡先生は、安岡正篤氏の孫にあたり、四月からお配りしている「花園」に連載をされることになっていきます。お子さん対象で、3歳から12歳くらいまでご参加頂いております。大人の方のご参加も可能です。私もいつも参加しているのですが、とても学ぶことが多く、何より三歳のお子さんと同じ席について勉強できることに驚いています。今年で二年目を迎えます。ぜひ、ご参加くださいませ。



編集後記

○皆さま気候が不順ですが、いかががお過ごしですか? ○龍雲寺の紅梅の木には梅に鶯までは無く、梅にインコです。風情はありませんが鶯より大きくて見やすいです ○新命が 妙心寺の僧堂に入って1年後に初めて短いお休みを頂き龍雲寺に。小さな苗木の河津桜を3本記念に植えました。その河津桜が14年経ち大きくなりました。根元に菜の花と思の根付きの小松菜を植えました。柔らかい葉が出る小鳥達が直ぐに食べに来て諦めました。○西国三十三所や出雲の観音巡礼にバスで方丈さんと皆さんが楽しくお参りしています。西国巡礼では清水寺の管長様に相見させて頂きました。薬師寺様では西塔に特別拝観を。宿の在った若草山の頂上で原生林を見ながらラジオ体操を。寒さも忘れて気分爽快に。2014年の10月に出来た將軍塚は見晴らしが良く、素敵な寒そうなガラスのお茶室もありました。○愛犬ハクちゃんか亡くなったので又、可哀想なわんちゃんを思っていました。殺傷処分されるわんちゃんを貰う資料を頂きました。その資料には65歳以上の方は講習会を受ける資格が無く、犬を飼う事が出来ない。私は65歳なので仔犬を引き取っても私の方が先に死んでしまうからと言ったので少しショックでした。○今年も御詠歌の皆さんと千鳥が淵墓苑に御詠歌を献詠に参ります。○新しい家族も増え少しづつお互いに環境に慣れて来ていると思います。○インフルエンザが流行しています。お身体を大切になさって下さい。○お彼岸会には、ほた餅と糠漬けのお漬物をご用意してお待ちしています。○山内一同おかげさまで元気にしています。お元気で。要子

臨済宗妙心寺派 龍雲寺 花園会報

二〇一六年 春彼岸号

〒一五四一〇〇三
東京都世田谷区野沢三三八一

監修／細川晋輔 編集／細川要子

TEL〇三―三四二一―〇二三八
FAX〇三―三四一八―九八六三

野沢龍雲寺 検索

ご挨拶

新命住職 細川 晋輔

平成二十八年も早いもので、節分も終わりのもう三月のお彼岸を迎えようとしております。「節分」は、恥ずかしながら今の今まで二月三日だけと思っていたのですが、お寺で行っている論語塾で、年に四回あるということがわかりました。

辞書に聞いてみると、「季節の移り変わる時、すなわち立春、立夏、立秋、立冬の前日の称」とのこと。つまり、年に四回ある季節の分かれ目が「節分」ということとなります。二月の「節分」は「鬼はそと! 福はうち!」と豆まきをします。小さい時からお寺の豆まきは、私たちが兄弟の仕事でしたが、大きくなるにつれて後の掃除のことを考えて、どうしても力一杯まくことができない自分がありました。

しかし、京都の妙心寺の道場に修行に行ってみると、「節分」は楽しい思い出の一つになりました。修行僧の中から「鬼」と「福の神」が二人選ばれます。一度しか選ばれることはなく、一度も選ばれない人もたくさんいるぐらいの確率です。そして、鬼の格好をして普段は恐れ多くて近づけない老大師の首をしめ(鬼に首をしめられると、一年間健康でいられるという言い伝えが関西にはあるようです)、門前の信者さんのお宅で恵方巻きやお酒を頂き、「ごもつとも、ごもつとも」と叫びながらひたすら豆をまき散らします。普通なら自分の家を散らかされて怒られるところですが、どのお宅の方も「これで一年息災」と大変喜ばれ、誰一人掃除のことも気にされていません。これが、その地域において昔から続いている「節分の豆まき」だったのです。

「論語」の孔子先生は、今まで行ってきた儀式を、やめることはもちろん簡略化することをも戒めておられたそうです。大変手がかかる

お正月のお節料理や、部屋や玄関が汚れてしまう豆まきも、やめてしまったほうが楽かもしれません。しかし、これらの行事は長い間、たくさんの人たちによってつないで来られた意味のある行事なので、その意味を知って、同じように続けていくということも大事なのではないでしょうか。

冬から春へと季節が変わる「節分」。考えてみると「四季は?」と尋ねられると、ほとんどの方が「春夏秋冬」とお答えになります。誰も「冬春夏秋」とは答えられない。これには、「春」という季節が持っている言葉にはできない勢いが感じられて仕方ないのです。閑栖和尚の著書の題でもある「枯木再び花を生ず」という禅の言葉。寒い冬の間、冬枯れの樹木が、春になって再び芽をつけて息を吹き返す。なんとも力が湧いてくるような、みずみずしい言葉です。私たちが枯れ木のように苦悩することがあっても、いい縁と巡りあうことで、再び心の花を咲かせることができるのです。

彼岸会は平安初期から朝廷で行われ、江戸時代に庶民の間に広がったものです。この行事が、皆さまにとっていい縁となることを、心より祈念致します。ご挨拶とさせて頂きます。

春季彼岸会法要

平成二十八年三月二十日(日) 於・龍雲寺本堂
十二時 御詠歌奉詠
十二時四十五分 法話
十三時半 法要
※おはきと、お漬物をご用意しています。どうぞお参り下さい。
申し込み不要。

「みんなを好きになりたかったみずゞ」

金子みずゞ朗読会 於・龍雲寺

来る三月十三日(日)の午後三時より、本堂におきまして「みんなを好きになりたかったみずゞ」を金子みずゞを語る会を行います。今から五年前、東日本震災の直後テレビをつけると流れていた金子みずゞさんの詩。「素直であり、温かくもあり、それでいてどこか悲しい。」私はそんな印象を受けました。そして、みずゞさんの短いご生涯を辿っていくと、あらたな気づきがたくさんありました。

三月は震災の月でもあり、金子みずゞさんのご命日でもありません。そこで、元NHKエグゼクティブアナウンサーであり、そして四十年にわたり彼女の魅力を伝えていた村上信夫さんをお招きして、「金子みずゞを語る会」を開催することになりました。みずゞさんの詩が好きの方も、また「そんなに知らない」という方も、ぜひ村上さんの「伝える言葉」を開きにいらしてください。問い合わせはお寺まで、会費は不要で要予約となっております。お誘い合わせの上、お越しくださいませ。

わたしと小鳥とすずと

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう、
地面(じべた)をはやくははしれない。
わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう、
たくさんのうたは知らないよ。
すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

【カネコみずゞ童話全集】(JULA出版局)より

龍雲寺桜ライトアップ

今年も龍雲寺境内におきまして、「桜ライトアップ」を行います。「年年歳歳花相似たり」と申します通り、桜の花は毎年同じように咲いてくれます。それでも「歳歳年年人同じからず」という対句が諸行無常の理を表しています。

今年の桜は今年しか味わえません。ぜひご覧下さいませ。また、茶室・南薫亭に於きまして午後三時から龍雲寺茶道部による「普段着のお茶会」もごさいませ。どうぞ気楽な格好でお楽しみください。

龍雲寺桜ライトアップ

【日時】四月二日(金)～三日(日)

午後六時から午後九時閉門

【場所】龍雲寺境内

普段着のお茶会

【日時】ライトアップ同日

午後三時から午後六時まで

【場所】龍雲寺境内 茶室・南薫亭

【料金】100円(抹茶・お菓子付き)

※楽な格好でお気軽にお越しください。



募集

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

無相教会花園流御詠歌会員募集

三月二十五日(金)・四月二十五日(月)
五月十八日(水)・六月 六日(月)
七月 十一日(月)
毎週木曜日二回自主練習

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

早朝洗心坐禅会 (申込不要)

毎週日曜日 朝六時半～八時半(六時開門)
会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。
※初参加の方は六時四十分より説明があります。

写経会 (申込不要)

毎月第二土曜日 一時～四時
(但し、七月、八月はお休み)

納経料は 一巻五〇〇円(龍雲寺に納経)
来られない方は、お写経をお渡しいたしますのでご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。
イス席もご用意しています。

龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

- A (一五〇×一五〇) 永代使用料一二五万円
- B (一五〇×一四〇) 永代使用料一一四万円
- ABとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

納骨堂 (お遺骨一時預り 無料・期間五年)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があとて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持って下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

龍雲寺てらこや子ども論語塾

全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。終わってからの遊びの時間も大好評です。

- 【日時】四月 三日(日)・五月 八日(日)
六月 五日(日)・七月 三日(日)
- 午後三時から

【参加費】大人千円、子ども五百円
(家庭料金千円)
申し込み、お問い合わせはお寺まで

龍雲寺ダレマトーク(法話会)

午後二時半から四時半まで(開場 午後二時)
【講師】四月二十三日(土)

花園大学教授 佐々木 閑先生
六月 十八日(土)

【場所】龍雲寺本堂
【参加費】無料

※要予約(東京禅センター)

申込みは、お名前・お電話番号・人数を明記の上、東京禅センターまでFAXでいただけると助かります。
★東京禅センター TEL〇三(五七七九)三八〇〇
FAX〇三(五七七九)三八〇一

巡拝・巡礼のお誘い

- 四月 十一日(月)～十四日(木)
第九次四国八十八ヶ所巡拝満願の旅
- 八月 十五日(月)～十七日(水)
第十一回妙心寺と五山送り火

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かつぼれ・ヨガ等があります。

